

北海道大学フロンティア基金

平成 30 年度 新渡戸スクール プロジェクト助成金・優秀プロジェクト助成金 計画調書
(上級プログラム)

申請年月日: 年 月 日

氏名		所属		学年
プロジェクト課題				
指導教員	職名	氏名	Email	

各種奨学金, 支援受給状況

(受給しているもの, もしくは受給する予定が無い場合は記入不要)

右の制度等に該当するものがあれば, <input type="checkbox"/> にチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 日本学術振興会特別プロジェクト員 <input type="checkbox"/> 国費外国人留学生 <input type="checkbox"/> 政府派遣外国人留学生 <input type="checkbox"/> 外国人留学生プログラム等 プログラム名 () <input type="checkbox"/> 奨学金、支援金等 奨学金等名 ()
--	--

1) 誰に計画調書を読んでもらいましたか? 間柄を書いてください。

2) どちらを希望しますか? チェックを入れてください。

プロジェクト助成金 30 万円 (25 名程度)

プロジェクト助成金 30 万円 + 優秀プロジェクト助成金 20 万円 (プロジェクト助成金受給者のうち 3 名程度)

* 優秀プロジェクト助成金を申請する場合は、問 4 (6 ページ目) を記入すること。

【プロジェクト経費使用内訳】

プロジェクト助成金 30 万円

	品名等	金額(円)
消耗品費		
	小 計	
旅費		
	小 計	
その他		
	小 計	
プロジェクト経費合計	(円)	

1. プロジェクトの目的

本欄には、プロジェクトの全体構想及びその中での本プロジェクトの具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① プロジェクトの(学術的)背景 (本プロジェクトに関連する国内・国外のプロジェクト動向及び位置づけ、応募者のこれまでのプロジェクト成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでのプロジェクトの成果を発展させる場合にはその内容等)
- ② プロジェクトの期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか
- ③ 本プロジェクトの(学術的)な特色・独創的な点
- ④ 予想される結果と意義、社会への貢献

※ **フォントサイズ 11 以上を使用すること。**

プロジェクトの目的 (概要) ※当該プロジェクト計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。

※ ①から④の項目は全て記載すること。

プロジェクトの目的（つづき）

2. プロジェクト計画・方法

本欄には、プロジェクトの目的を達成するための具体的なプロジェクト計画・方法について、冒頭に概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述してください。

ここでは、プロジェクトが当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、本プロジェクトを遂行する上での具体的な工夫（効果的にプロジェクトを進める上でのアイデア、効率的にプロジェクトを進めるためのプロジェクト協力者からの支援等）についても、焦点を絞り、明確に記述してください。さらに、獲得するプロジェクト助成金をどのように活用するかも記載してください。

※ フォントサイズ 11 以上

プロジェクト計画・方法（概要） ※プロジェクト目的を達成するためのプロジェクト計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください

プロジェクト計画・方法（つづき）

3. 体制（チーム）

本プロジェクトの目的を達成するための体制（チーム）を具体的に説明すること。プロジェクト体制の全体像を明らかにするため、申請者、チームの協力者（海外の協力者、企業の協力者、大学院生等（氏名、員数を記入すること）の役割についても記述してください。文章だけでなく、必ず図表を使用し説明すること。

4. プロジェクトを加速するためのプロジェクト構想を記入してください。
※ プロジェクト助成金+追加プロジェクト助成金を申請する学生のみ記入のこと。

【プロジェクト経費使用内訳】

優秀プロジェクト助成金 20 万円

	品名等	金額(円)
消耗品費		
	小 計	
旅費		
	小 計	
その他		
	小 計	
プロジェクト経費合計		(円)